



発行人
公益財団法人 愛媛県消防協会
松山市築山町1番35号
電話(921)8517番
会長 土居 敏夫
一部52円

二〇一九年度全国統一防火標語
ひとつずついいね!で確認

火の用心

年頭の辞



公益財団法人
愛媛県消防協会
会長 土居 敏夫

令和二年の輝かしい新春を迎え、平素から地域防災に「尽力」いただいております。会員各位をはじめ、消防関係者の皆様にご挨拶を申し上げます。

愛媛県の消防団員・吏員の皆様は、常日頃から防災の最前線に立ち、火災をはじめとしたあらゆる災害に対し、昼夜を問わず地域住民の安心・安全な暮らしを守るため、献身的に職務精励いただいております。ことに、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

さて、令和元年を顧みますと幸いにも愛媛県下においては、大きな被害を受ける災害の発生はありませんでしたが、全国的には、六月に発生した山形県沖を震源とする地震で新潟県では震度六強を観測、七月には西日本広域に梅雨前線による大雨及び台風五号による大雨災害、八月には九州北部を中心とした大雨被害、九月には千葉県を中心に台風十五号の被害、十月には東日本広域に台風十九号及び前線による大雨被害・沖縄県で(世界遺産)首里城跡の全焼など毎月のように、想定を超える災害が発生しており、多くの方々が被災されております。被災された皆様方には心からお見舞い申し上げます。

このように、いつどこでも災害が起こると思わなくてはなりません。住民の生命、身体及び財産を被害から守る地域防災の要となる消防団に対して、住民からの負託は年々大き

新春のごあいさつ
『総力結集でのりこえましょう』



公益財団法人
日本消防協会
会長 秋本 敏文

明けましておめでとうございます。今年が無事平穏なよい年でありますようお祈り申し上げます。しかし、最近の災害発生状況では、今年、無事平穏でということばかりはつかいかもれません。そのようななか、愛媛県消防の皆様が地域の安全のためご尽力いただいていることに対し、深く感謝し、敬意を表します。ありがとうございます。

それは、防災の原点は「地域」だと申しあげてきました。地震、台風などいろいろな災害が発生した時に、その地域の自然の社会的条件のもとで、火災も含めてどのような事態があり得るのか、その時どのような対応をするか、こうしたことは、最終的には、それぞれの地域の状況に応じて日頃から考え、いざという時には力を合わせて必要な行動をとらなければならぬでしょう。



愛媛県消防長会
会長 中矢 洋造

令和二年の輝かしい新春を迎え、県内の消防関係者の皆様に謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。皆様には、日頃から地域の安全・安心を確保するため、昼夜を分かたず消防・防災活動に御尽力いただいております。ことに、深く敬意を表します。ともに心から感謝申し上げます。

さて、昨年5月に令和の時代が幕を開けたところですが、平成を振り返りますと、地下鉄サリン事件などの特殊災害やJR福知山線脱線事故などの集団災害、阪神淡路大震災や東日本大震災、全国各地に爪痕を残した台風や集

として活かさなければならぬのです。そのためには、消防機関はもとより、学者、研究者、行政関係者、消防機器メーカーなど、幅広い消防関係者の間で率直な意見を交換しながら、知識、経験を総合的に活かしていく、総力を結集する、いわば消防防災総合力を高めていくことが必要ではないかと思われまふ。

今、新しい日本消防会館の建設を進めていますが、新しい会館は、皆さんのご意見を頂きながら、さまざまな視点を含めて、日本消防発展の総合的中核拠点として貢献できるものになければなりません。

いろいろな課題がございますが、今年も皆さんと一緒に日本消防のさらなる発展のため努力してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

最後に県内の無事平穏、愛媛県消防の皆様がご健康ご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

Advertisement for Shikoku Fire Co., Ltd. (株式会社 四国消防). Includes a list of services: inspection, reporting, maintenance, work, and fire equipment sales. Contact info: 〒790-0952 松山市朝生田町1丁目7番21号. Phone: (089) 934-4800. Fax: (089) 934-5533. Email: yons@ss4800.jp

Advertisement for Ogawa Pump Industry Co., Ltd. (小川ポンプ工業株式会社). Features an illustration of a firefighter and text: '今年も宜しくお願いたします' (We wish you a good year again). Website: http://www.ogawa-pump.co.jp. Address: 〒790-0045 松山市余戸中6丁目9番52号. Phone: 089-972-2392. Fax: 089-972-2400. Email: ehime@ogawa-pump.co.jp

新年の「あけましておめでとう」



愛媛県知事

中村 時広

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素、消防関係者の皆様方には、消火、救急、救助はもとより、地域防災の中核的存在として、住民の尊い生命と貴重な財産を守るため、日夜献身的に活動されており、深く敬意と感謝の意を表します。

さて、我が国では、昨年も多くの地震や風水害が猛威をふるい、特に十月の台風十九号と前線にともなう大雨によって、百名近い方が亡くなられたほか、約九万二千棟にもおよぶ住家被害が生じるなど、近年、自然災害が頻発・激甚化する傾向にあり、災害対応力の向上が喫緊の課題となっております。

こうした中、県では、おととしの西日本豪雨災害からの創造的復興を最優先課題に掲げ、被災された方々の中長期的な生活支援やかんきつ農業をはじめとした地域産業の再生などに全力を挙げているところです。

また、再度災害防止に向けた河川堤防の改修や河床掘削、砂防堰堤の整備等に取り組むとともに、迅速な避難につながる情報収集・伝達体制の強化や、自主防災組織の活性化とその活動の核となる防災士の養成に力を注ぐなど、ハード・ソフトの両面にわたる防災・減災対策を推進しております。

更に、発災時の初動対応において重要な役割を果たす消防団活動の拡充を図るべく、基本団員の確保はもとより、機能別・女性団員の加入促進、装備の充実のための情報提供に努めるなど、引き続き、貴協会をはじめ、市町や消防機関等との連携の下、「オール愛媛」で地域防災力を高めて参りたいと考えています。

どうか皆様方におかれましては、今後とも、心身の鍛錬や技術の錬磨に精進され、消防への住民の期待と信頼にこたえていただき、県民が安全・安心で快適に暮らすことができる「愛顔あふれる愛媛づくり」に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、公益財団法人愛媛県消防協会のますますの御発展と、皆様方の今年一年の御健勝、御多幸を祈念申し上げます。

近隣市町消防団合同訓練モデル事業

県下消防団長や愛媛大学教授などの協議により策定された「愛媛県消防団広域相互応援協定(案)」に基づき合同訓練を行いました。

※愛媛県消防団広域相互応援協定とは、災害の発生に際し、これの鎮圧並びに被害の軽減を図るため、愛媛県消防団広域相互応援協定(平成18年4月1日施行)と併せ、消防団の相互応援体制を確立し、もって不測の事態に対処することを目的としたもので、主に応援の要件及び対象、要請方法等、経費の負担などについて謳っている。

この訓練は、今後、構築が見込まれる消防団の協力体制の強化及び実効性を高めるため、近隣市町消防団の合同訓練を実施し、課題を体感・共有し、改善につなげるものです。



鬼北町、西予市消防団の連携放水

〔東予〕 令和元年12月1日 今治市湯ノ浦・山林火災想定
〔参加〕 受援…今治市消防団車両6台
〔参加人数〕 97名
〔概要〕
(1) ため池に今治市消防団のポンプ車1台で取水、八百mの距離をホース約40本、可搬ポンプで中継、今治市消防団第1線放水。
(2) 後着西条市消防団が火点付近で可搬ポンプ筒先側から分岐、加圧して第2線放水。
(3) 現場本部で東予の各団長参観、現場最高責任者が統制、5W簡易無線機で連携、女性団員は時系列記入を担当。
〔所感〕
過去の実際の山林火災を前提としており訓練意義が明確であった。綿密な計画で最終中継ポンプ先で西条車両に分岐し加圧した結果、元の今治第1線の筒先圧力が低下し、山林火災での留意点を検証できた。女性団員も含め多くの団員が連携の流れを確認でき、長距離間のホース延長と中継の困難さを体感できた。
〔中予〕 令和元年12月1日
消防学校教官による講話研修及び資機材取扱訓練
〔参加〕 受援…松山市消防団
伊予市・東温市・久万高原町・松前町・砥部町消防団
〔参加人数〕 71名
〔概要〕
(1) 他県災害時の緊急消防援助隊と地元消防団との連携等を田丸教頭の体験談で講話研修。
(2) 佐伯教官から消防現場の二次災害予防の重要性や危険要素の事前排除の研修。
(3) 屋外訓練場で参加車両装備等を相互確認、救助用資機材やドロインの研修を実施。
〔所感〕
他市町消防団との交流がない消防団の相互応援では相互理解が大事。お互いの顔を見て、会話して、相互に装備等を確認し合うことが先の連携に繋がる、との思いから消防学校での研修が計画された。消防団には火災・救命・救助、避難、行方不明捜索など多様な活動が求められており、訓練Ⅱ実動の考え方にとられない研修も訓練の形態として有効。
〔南予〕 令和元年10月19日
鬼北町総合公園、愛媛県総合防災訓練と併催
〔参加〕 受援…鬼北町消防団車両2台
西予市消防団車両2台
〔参加人数〕 19名
〔概要〕
(1) 倒壊家屋の火災防ぎよ訓練、近隣のため池から取水し会場内へ送水貯留、鬼北町消防団より第1線、西予市積載車から第2線、常備消防隊と協働。
(2) 現地本部に応援西予市副団長が入り情報交換可能な体制で臨んだ。
(3) 鬼北町、西予市ともIP無線を携行、西予市の出動隊選定では高速道路利用による到着時間短縮を考慮した。
〔所感〕
高速道の有料化を踏まえETCカードや走行に必要な三角反射板などの装備を考慮したい。一部の消防団が保有するIP無線機は長距離間の通信が可能も他市町消防団との通信には契約時に相手側を登録する必要がある。特に現場活動で必須となる簡易無線機等の早期整備が望まれる。



中予：装備の相互確認



東予：今治市女性消防団員の現場本部記録



東予：総員集結講習

扱いやすさとタフな空冷エンジンを採用

空冷式消防ポンプ FT500 B-2級 FT450 B-3級



Fi(電子制御燃料噴射)に間接水冷ラジエータを搭載

水冷Fi式消防ポンプ FF500ZXi B-2級 FF450ZXi B-3級



操法で活躍!

SHIBAURA

信頼と実績のキャブレタシリーズ 水冷式消防ポンプ FK500 B-2級 FK450 B-3級 FK400 B-3級



シバウラ消防ポンプ愛媛県総代理店 (有)愛媛芝浦ポンプ商会 TEL.089-933-6355 FAX.089-933-9550 〒790-0911 松山市桑原2丁目3番19号

# 消防団員指導員研修会

令和元年10月26日(土)～27日(日)

愛媛県消防学校にて消防団員指導員研修会が2日間にわたり行われた。

県下16市町消防団から組織の中核を担う30名の消防団員が集まり、各教官から熱心な講義を受け、新しい知識や技能を習得した。また、初日の研修会終了後、意見交換会を実施し、普段交流することが少ない他市町との親睦を深めた。

他市町の人たちと共に学び、活動することで、近隣で助け合わなくてはならない事案に遭遇した場合役立つと思うなど、前向きな意見をいただいた。



『伝承』

愛媛県消防学校  
教頭 田丸 幸司

今から三百年ほど前の享保五年に、江戸の町を火災から守るため、時の町奉行大岡越前守忠相が、「いろは四十八組」と「深川・本所十六組」を編成し、炎に抗う男達が集められた。これが「町火消」の誕生である。

この町火消が、組の目印として用いたのが「纏」であり、元々は、戦国時代に戦場で目印として用いられたもので、町火消が誕生して間もなく、それぞれの組に纏を持たせ、士気の高揚を図った。



この纏を担いで走り、屋根の上で振り回すには、かなりの腕力が必要なため、組の内で体力があり威勢に優れたものが「纏持ち」に任命された。纏持ちは火事場で風下の屋根に上がり、纏を振り立てて消火の目印するとともに、仲間達の士気を鼓舞した。纏持ちは火事が消えるまで決して屋根から降りない。それは、己の組の心意気と責任を表していた。

その町火消が火災装束として羽織っていたのが「刺子半纏」であり、木綿製の布地を細かく、雑巾刺しに縫った衣服で、二重三重に重ね合わせて作られているため吸水性に富んでいた。乾いたままでは火事場の熱を多く吸収してしまうため、頭から水がかぶって火事場に向かった。

火事場では、鳶口や掛矢で家を壊し、火道を断って延焼を止めた。火事の炎や火の粉を浴びて羽織っていた刺子半纏は煤だらけになり、真っ黒に汚れた。仕事を終えて、組頭が「帰るぞ」と一声かけると、煤だらけになった刺子半纏を裏返して羽織った。裏返した刺子半纏の背中には、虎や鯉、鶴や花など、本当にきれいな刺繍があった。全員がきれいな刺繍だけを見せて火事場から引き揚げ、自分たちが仕事したことを決して見せなかった。これが、火消の「粋」であり伝統である。

今は、装備も技術も全く違う。近い将来、ロボットが火を消す時代が来るかもしれない。そんな時代だからこそ、現代の火消が、この「粋」を貫き、伝承していく必要がある。いつ、如何なる時でも消防は、「粋」である。



# 未来の消防団加入促進事業

《高校訪問》 《中学生消防体験学習》

平成29年度から愛媛県の委託を受け、当協会では、将来の消防団の担い手である若い世代にターゲットを絞り、「未来の消防団加入促進事業」を実施しています。

今年の中学生消防体験学習は、愛媛県消防学校だけでなく、四国中央市防災センターや松前消防署、川東中学校(新居浜市)や真穴中学校(八幡浜市)など、いろいろな場所でも実施しました。

先生や生徒さんたちは、煙体験や実放水体験・地震体験など、普段の授業にはないものに触れ、いろいろなものを吸収してくれていたように思います。

「お父さん！消防団おつかれ！って声をかけたいと思う」

「消防団員の家族であることを誇りに思う」

「人の命を助けるために一生懸命がんばっている姿をすごくカッコいいと思う」といった感想が寄せられ、励まされています。



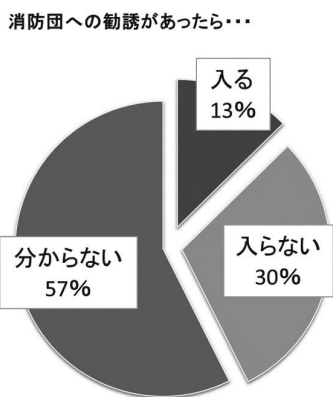
高校生へは、DVDやチラシ・ポスターを活用しながら、団員等が学校を訪問。

消防という役目に関わること、消防団員と消防職員の違い、団員実体験、それぞれの市町の現状などについて話をしたり、防火衣着装、消火器の取り扱い指導しながら消防団をPR

消防団法のデモストレーション等いろいろな工夫をしながら、「地域に貢献すること」や「命の大切さ」、消防団が自分たちの身近で見守っていることを伝えています。



高校生アンケート結果 (8,643人回答)



「はい(入る)」と答えた理由	1,093名 (13%)
<input type="checkbox"/> 自らのまちは自らが守ることが必要だから	631名
<input type="checkbox"/> 使命感、達成感、やりがいを感じるから	450名
<input type="checkbox"/> 他人任せにせず、自分がやらなければならないと思うから	448名
<input type="checkbox"/> 消防団活動が役に立っているから	443名
「いいえ(入らない)」と答えた理由	2,591名 (30%)
<input type="checkbox"/> 他にやることがあり忙しいので、活動が十分に行えないから	1,208名
<input type="checkbox"/> 入りたい人が入ればいいと思うから	923名
<input type="checkbox"/> 訓練・行事などに多くの時間をとられ、負担になるから	674名
<input type="checkbox"/> 活動が危険だから	569名

高校生諸君！  
消防団を知っているか！

時代が変わっても火消しの心は変わらない!!

最強コンビ

ポンプ操作法

トーハツ VCPROIII

キンバイスーパーランナーホース

株式会社 ヤマダ 1910年創業

TOHATSU 株式会社 吉谷機械製作所

小型消防ポンプVFシリーズ 電子制御 燃料噴射装置

消防ポンプ自動車 化学消防自動車

テイセン 救助工作車 キンバイ消防ホース

YAMATO ROTEL ヤマトプロテック 粉末(ABC) 消火器

〒790-0062 松山市南江戸1丁目2番26号  
TEL: (089) 947-2295 | FAX: (089) 945-3976 | www.yamada-pump.co.jp



# 女性消防団員リーダー会議

## 令和元年10月24日(木)～25日(金)

全国からそれぞれの地域でリーダー的役割を担っている16名の女性消防団員の方々が参集し、日本消防協会の秋本会長をコーディネーター役に、有識者の先生方を交え、「地域防災力の充実強化における女性パワーの発揮」というテーマで、会議が行われました。

各団における女性の役割と具体的な活動内容、消防団の組織運営と確保対策などの意見交換が行われました。

2日目は、東京臨海広域防災公園の防災体験学習施設「そなエリア東京」で、首都直下地震発生から避難までをタブレット端末を使用しながら学習する「東京直下72h ツアー」などで体験型の研修が行われました。



新居浜市消防団  
部長 越智 理恵

令和元年10月24日から25日の間、日本消防会館にて「女性消防団の活動活性化のために何が必要か」をテーマに、全国から女性消防団員14名と、消防団員確保対策委員長石橋様、前東京都三鷹市長清原様、日本防火防炎協会業務部長曾田様に加え、消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室長田中様、日本消防協会会長秋本様、理事長三輪様、常務理事兵谷様、事務局の方々を席を囲んでの自由な意見交換がなされた。

参加したリーダーがこれまでのような活動をし、女性消防団員の活動の活性化や活動の場を広げるための課題に向けて何を考えるのか意見を出し合った会議となった。女性消防団員の活動は市町によって違い、既に女性分団であったり、団本部付であったり、男性の団員と一緒に訓練・現場活動するところも多々あった。

平時の広報活動は、独居老人家庭防火訪問が最も多く、どこも名簿に沿って年間を通して訪問活動がなされていた。また、地域防災訓練に参加し避難所運営にどう関わっているかを常に考えている団が多いようであった。女性消防団員が男性と共に活動するにあたっての課題として、女性の話がない、男性と同じ話所では更衣室もトイレも確保できていないなど、ハード面では若い団員には抵抗があり、団員増加の歯止めの一因となっているなどが挙げられた。また、地域防災力の充実強化の対策として女性の力は必要不可欠であることは近年の災害時の避難所活動などから全国的にも広くアピールされている。しかし、女性消防団員においては年数は経っても、まだまだ活動内容の確立がなされていない市町も残されているのが現状である。女性団員のための、更なる活動の場が得られるよう指導、訓練の工夫、予算の提供を求める声も多かった。

県によっては、既に県内で女性団員の会合も年に数回なされている地域もある。近隣の市町の団員同士はもちろん、近県での関わりもすっかり作っていき活動があり、今後の災害時に役に立つ、顔の見える関係の構築も見据えられている。

これまでの社会の考え方では、男女間での認識の相違があったが、確かに男女の資質の違いは理解しつつ、これからは男女で分けるのではなく、あくまで個人として捉え、出来ることを伸ばし活用する方向で考え、訓練も進めていければ、団員も活動に参加しやすくなるのではないかと意見となった。少なくとも入団した人は前向きに訓練活動と向き合っていると確信して、会議はひとまず終了となった。会議後は、夕食を囲んでの懇親会となった。交流会では、初の女性ニュースキャスターに就任され、千葉商科大学国際教養学部教授、同学部長で「元号に関する懇談会」の有識者委員もされた宮崎緑さんが参加され、女性として第一線で、様々な立場で意見を発信している方のお話も伺え、日本の女性のパワーに感動した。そんな空気の中、会議で話し切れなかった方々との交流も深められ、また全国の団員が増えた一日目となった。

二日目は、「そなエリア東京」での防災体験学習を受講した。首都直下地震の発生から避難までを疑似体験できる「東京直下72h ツアー」はタブレットを使いながら自分自身で避難所までたどり着く体験型学習であり、大変興味深く、一度は当市女性消防団の皆さんにも体験してほしい施設であった。

二日間の日程は、皆で昼食のあと解散となったが、時間のある人で近くの芝消防署を訪問し見学させて頂いた。都会の狭小地ながら工夫の凝らされた署の建屋の様子も伺えた。お世話頂いた事務局の方とも名残を惜しみながら、今回の情報共有を糧に今後の活動への足掛かりとすべく、それぞれの地へと帰路に就いた。その後はもちろん皆さんとの情報交換は続いている。今回、県下で1名という貴重な機会を頂いた事に、関係者の皆様に対して厚くお礼申し上げます。

# 令和元年度防火ポスター・防火防災に関する作文コンクール表彰式

令和元年12月26日(木)、日本消防協会 役員室にて表彰式が執り行われました。

防火ポスターの部は、全国の小学生4年生以上から中学生が対象で、今年度は、三百七十四校から二万六千三百五十四点の応募がありました。都道府県での選考を経て、本部に推薦された五十七点の中から厳選な選考の結果、最優秀賞に選ばれた大西優輝さん(愛媛県西条市立壬生川小学校4年生)の作品に、「ひとつずつ、いいね!で確認 火の用心」の標語を入れたポスターが三万七千枚作製され、全国の消防関係機関等へ配布されています。

大西優輝さんの在籍する壬生川小学校では、四年生全員が少年消防クラブへ所属し防災教育に取り組んでいます。小学校区の分団とも連携を密にしていることから、今回の受賞を聞いた分団長も大変喜んでいらっしゃいました。

防火防災に関する作文の部では「日夜地域の防災に努める

消防団の実情を知り、自らの防災実体験も交えながら文章表現することで消防団とのかかわりを深め、自主的な防火防災意識の高揚を図るとともに、次世代の防災の担い手を育成すること」を目的とし、全国の中学生を対象に募集を行い、百三十四校から四百七十六点の作文の中から下蘭朋音さん(鹿児島県いちき串木野市立来中中学校 3年生)「女性だから」といって」が最優秀賞に選ばれました。

下蘭さんのお母さまは、所属する分団唯一の女性消防団員で、男性と同じように出勤し、消防操法は、男性に交じり訓練しているそうです。女性だからといって何もしないのではなく、とにかくいろいろなことに挑戦する「チャレンジ精神」を身近で感じながら、消防団の活動や学校のPTA活動に真剣に取り組むお母さまへの感謝や憧れを抱いている様に、心が温かくなりました。



# 災害に強いまちづくりをお手伝いします

家庭用からプロ仕様まで  
消防・防災の専門商社

- ◎消防ポンプ自動車
- ◎消防ホース
- ◎防災・救助機器
- ◎避難用品
- ◎小型動力ポンプ
- ◎消防被服
- ◎消火器・消火装置
- ◎自主防災・企業防災用品



人と地球のいのちを守る **MORITA** 新基準活動服 **SHIBAURA** ジェットホース  
新基準による 消防ポンプ・防災機器 操法大会最優秀ホース  
消防ポンプ自動車No.1メーカー 消防団員活動服 シバウラ可搬消防ポンプ コンペVシリーズ

(株)岩本商会 〒790-0067 松山市大手町1丁目10番地1

Tel.089(947)2111 Fax.089(947)2116  
高松支店/宇和島営業所/姫原倉庫 http://www.iwamotosyukai.co.jp

各種消防ポンプ自動車  
救急車  
高度医療機器  
販売

防災用品  
各種消火設備  
販売

消防防災設備  
給排水設備  
設計・施工・保守

# 新日本ライツ

http://www.sn-lt.com

日本機械工業株式会社代理店  
ヤマトプロテック株式会社代理店

南予営業所 〒796-0201 愛媛県八幡浜市保内町川之石1-237-130  
tel.0894-36-3322 fax.0894-36-3323

本社 〒790-0054 愛媛県松山市空港通2丁目18番32号  
tel.089-908-5766 fax.089-908-5767